

平成 30 年度「みやぎ防災ジュニアリーダー養成研修会」を開催しました(2018/12/25)

テーマ：防災教育、ジュニアリーダー、高校生

場所：災害科学国際研究所 1 階多目的ホールおよび会議・セミナー室

12 月 25 日（火）、災害科学国際研究所にて、平成 30 年度「みやぎ防災ジュニアリーダー養成研修会」を開催しました。多賀城高校災害科学科の生徒を含む宮城県内の高校から選抜された高校生 67 名が地域防災活動の担い手となるべく以下の研修プログラムを受けました。主催は宮城県教育委員会であり、災害科学国際研究所が共催となり、昨年度に引き続き 2 回目の開催となりました。所内からは、講義 3 の講師を安倍祥 学術研究員が担い、体験学習にあたっては、AR (Augmented Reality, 拡張現実) を用いた防災技術については災害アーカイブ研究分野の柴山明寛 准教授が、インタラクティブ地球儀「SPHERE (スフィア)」については地震津波リスク評価（東京海上日動）寄附研究部門の林晃大 助手が、大津波 3D 映像については広報室の鈴木通江 技術補佐員がそれぞれ協力者となり研修の充実化に貢献しました。研修会全体の企画調整を佐藤健 教授（情報管理・社会連携部門）が担当しました。

研修会プログラム

講義 1 「防災ジュニアリーダーに期待すること」

石巻市立青葉中学校 教頭 平塚真一郎

講義 2 「ファシリテーションの基礎～積極的な意見交流のために～」

東北学院大学教養学部 教授 和田正春

演習「防災クロスロード」

柴田町社会福祉協議会 福祉活動専門員 八島裕晃

講義 3 「自然災害に関する基礎知識と災害対策の取組」

東北大学災害科学国際研究所 学術研究員 安倍 祥

体験学習「災害科学国際研究所による最先端の防災技術」

情報管理・社会連携部門 災害アーカイブ研究分野 准教授 柴山明寛

地震津波リスク評価（東京海上日動）寄附研究部門 助手 林 晃大

広報室 鈴木通江



講義・演習の様子



体験学習の様子

文責：佐藤 健（情報管理・社会連携部門）